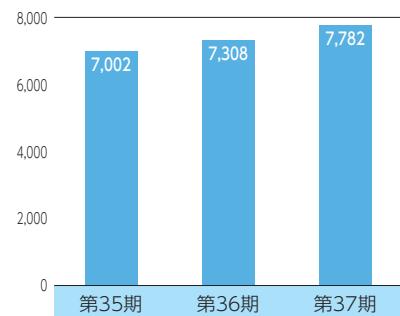
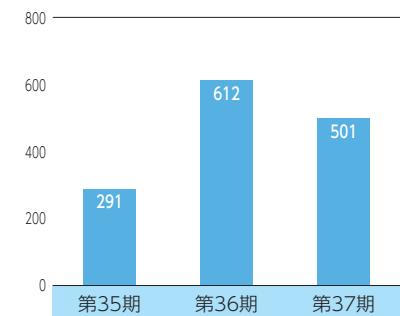


財務ハイライト

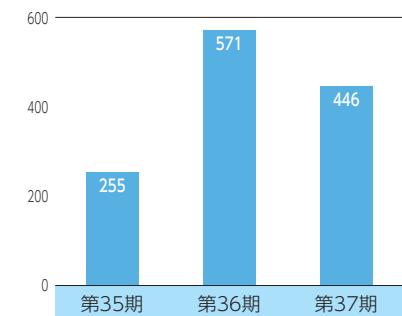
売上高 (百万円)



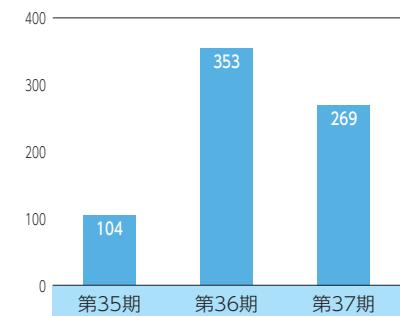
営業利益 (百万円)



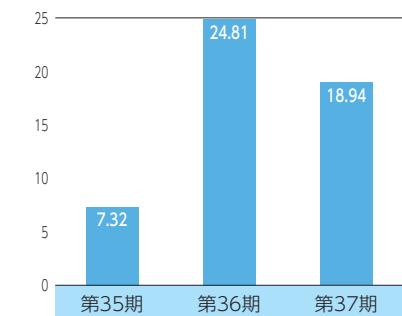
経常利益 (百万円)



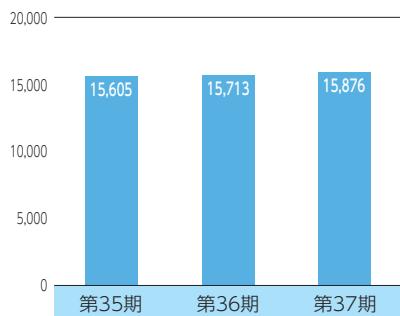
当期純利益 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



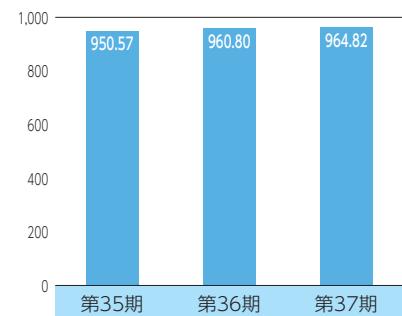
総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



1株当たり純資産 (円)





株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第37期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の事業の概況等をご報告申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長 近藤 健治

■事業の経過及び成果

当期におけるわが国の経済は、政府、日銀による経済・金融政策を背景に円安基調が定着し、株価の回復とともに、輸出関連を中心に企業業績が改善傾向を示しました。また個人消費につきましても持ち直し、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、デフレからの脱却が見極められない中で円安に起因する輸入原材料等の上昇や不安定な海外情勢もあり、先行きの不透明感は払拭できない状況となりました。こうした中で当社の主要な建設関連業界におきましては、公共投資が底堅く推移したことで民間建設投資も企業収益の改善から緩やかに回復しました。その結果、売上高は77億82百万円(前期比6.5%増)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。鋳鉄器材は建築関連が堅調に推移したことから排水関連製品が増加し、また設備投資の改善もあり設備資材関連製品や外構関連製品などが増加し、24億42百万円(同4.2%増)となりました。スチール機材は設備工事が改善してきたことから床板関連製品が増加し、14億39百万円(同1.9%増)となりました。製作金物は建築、外構

工事が改善してきたことから建築金物等が増加し、大型施設などの免震需要の高まりから関連製品が堅調であったことから、33億28百万円(同12.4%増)となりました。その他は土木需要が改善傾向でありましたが、建機、機械向け製品は海外需要の減速を受け、生産調整が続き、5億71百万円(同3.3%減)となりました。

利益につきましては、市場競争が厳しい中で販売価格は低位にありますが、販売量の確保にともない生産の増加、操業度の向上を図りました。しかしながら円安からの仕入コストの上昇や材料価格も上昇基調であったことから、売上総利益は25億6百万円(同0.1%増)となりました。また販売費及び一般管理費につきましては当期における退職給付費用の増加にともなう負担増もあり、諸経費の低減に努めましたが、営業利益は5億1百万円(同18.1%減)となりました。営業外損益につきましては金利が低下し、受取利息が減少しました。その結果、経常利益は4億46百万円(同21.8%減)、当期純利益は2億69百万円(同23.7%減)となりました。

快適な生活環境の創造に向けて

雨水排水・防水関連製品



ルーフドレイン

建築金物



フローアハッチ

防災関連製品



EXジョイント

緑化・造園関連製品



ガーデングレート

環境配慮関連製品



太陽光発電用あと付基礎金具

カネソウは歩みつづけます。

外構・街路関連製品



U字溝用スリット蓋

プラント関連製品



床板用グレーチング

衛生設備関連製品



上水道用鉄蓋

福祉関連製品



視覚障害者誘導用マーカ

店舗・オフィス関連製品



自動ドアガード

製品分類別の状況

鋳鉄器材

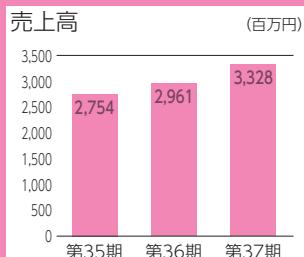


- 主な製品
ルーフドレイン、
マンホール鉄蓋、
車止め、
カラー舗装用みぞ蓋



ルーフドレイン

製作金物



- 主な製品
ステンレス製グレーチング、
ビット金物、
フローアハッチ、
EXジョイント、たてとい



EXジョイント

スチール機材



- 主な製品
鋼板製グレーチング、
カラーグレーチング



鋼板製グレーチング

その他



新製品のご紹介



new

ルーフドレイン 複数回使用抜型 よこ引き排水用

マンションなどのバルコニーに設置する、よこ引き排水用ルーフドレインの排水溝をコンクリート打設と同時に成形するための型枠です。特殊発泡樹脂の採用で、軽量で繰り返し使用ができるため、マンションのように同じ形状の排水溝を何回も繰り返し打設する場合に最適です。工期短縮と廃棄物低減に効果的な製品です。



new

EXジョイント 免震構造建築用 外壁用エキスパンションジョイント

免震構造建築物の壁と壁に挟まれた場所に設置することができる外壁用のエキスパンションジョイントカバーです。カバー端部にガイドローラーが付いており、地震時に壁が動いた場合にカバーもスムーズに動き、建物の変位に追従する構造です。



new

スマートスリット/スマートトラフ 鋼製側溝一体型みぞ蓋

排水溝をスチールで一体成型し、その上にスリット型のグレーチングを載せたみぞ蓋ユニットです。建物や構造物の際への設置が可能な境界型の「スマートスリット」と建物内部への設置に適したセンター型の「スマートトラフ」の二種類を設定しました。設置後の安全性、デザイン性に優れ、工期短縮が図れるユニット型のみぞ蓋です。



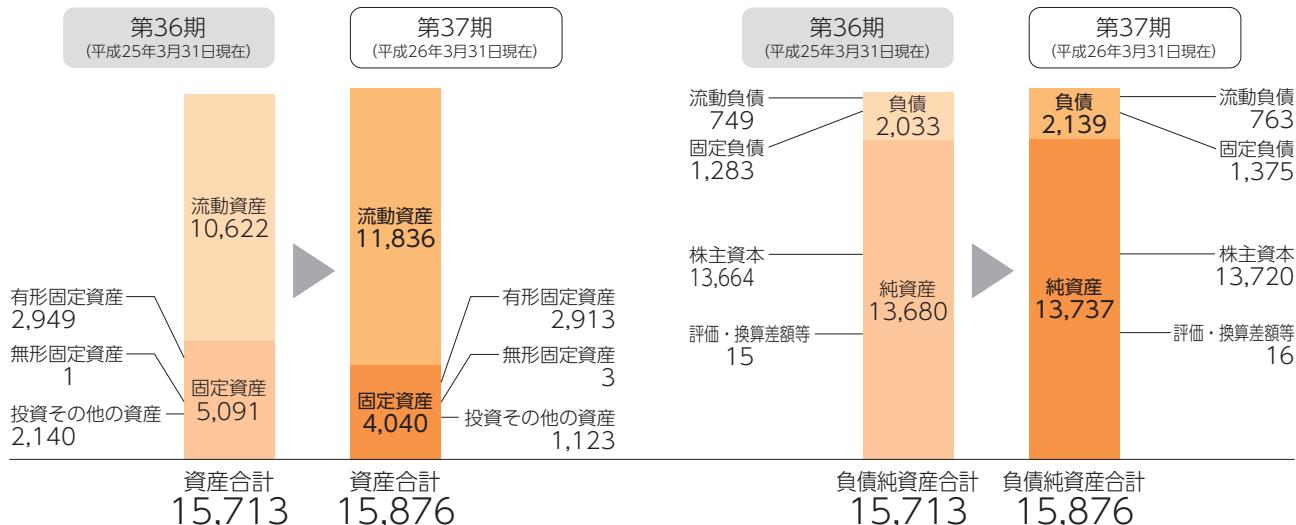
new

クリーンピット 溶接Tバータイプステンレス製グレーチング

メインバー形状を溶接によるT型のバーとし、強度向上と軽量化を図ったステンレス製グレーチングです。繰り返し荷重に長期間耐える強度を有するため、駅の改札口や公共施設などで人通りの集中する出入口に使用できます。バー上面にノンスリップ加工を施して滑りにくい仕様とし、歩行者の安全性を確保します。

貸借対照表の概要

(百万円)



■財政状態について

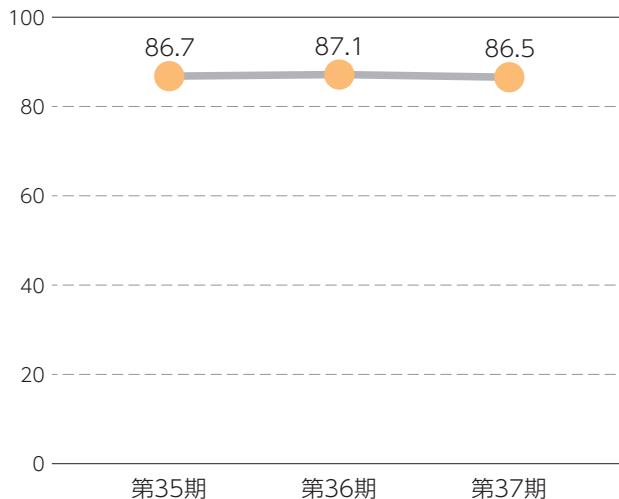
資産総額は158億76百万円となり、前事業年度末に比べ1億63百万円増加いたしました。これは主にたな卸資産が仕掛品、原材料及び貯蔵品は増加したものの製品が減少したことにより67百万円、有形固定資産が償却の進捗等により35百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金(長期預金含む)が2億6百万円、売上債権が売上の増加により36百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は21億39百万円となり、前事業年度末に比べ1億6百万円増加いたしました。これは主に仕入の増加により買掛金が30百万円、退職給付引当金が83百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は137億37百万円となり、前事業年度末に比べ56百万円増加いたしました。これは配当金の支払により利益剰余金が2億13百万円減少しましたが、当期純利益の計上が2億69百万円あったこと等によるものであります。

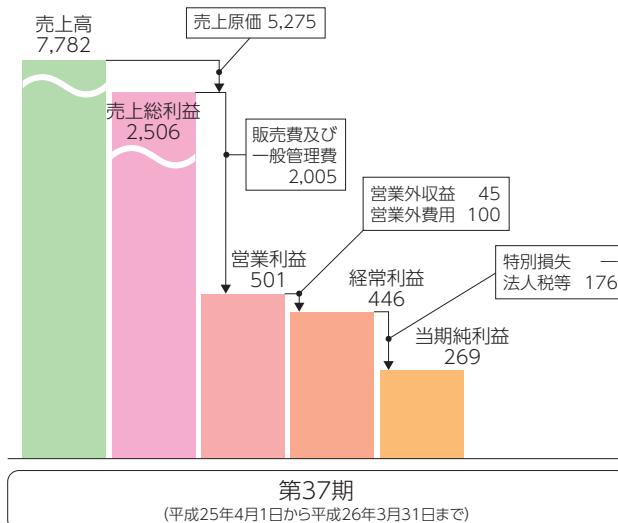
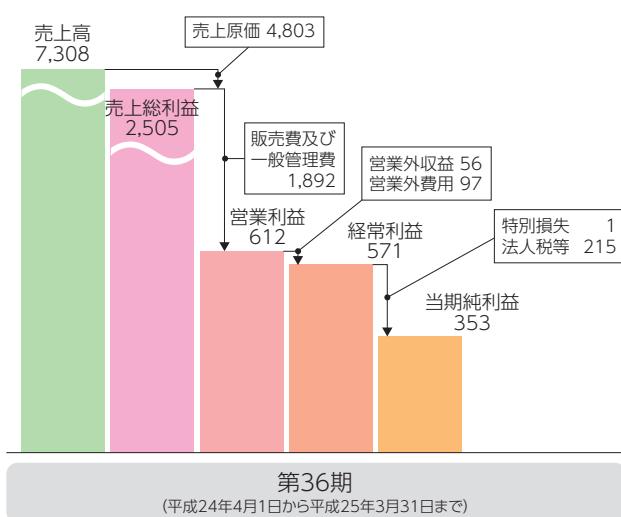
自己資本比率の推移

(%)



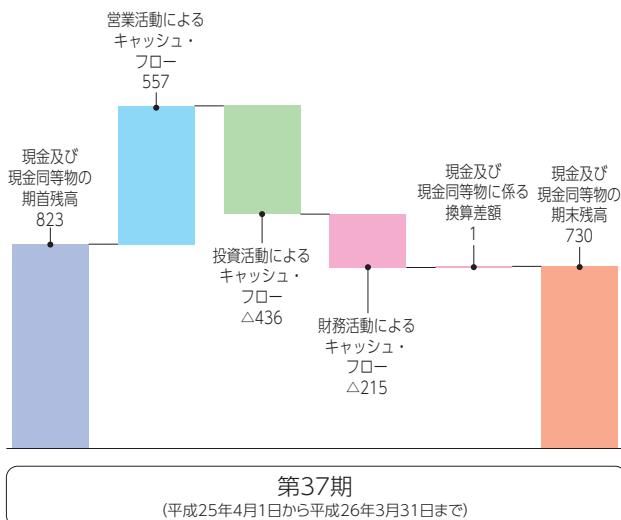
損益計算書の概要

(百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、5億57百万円(前期比16百万円の収入増)となりました。これは主に、売上債権の増加が36百万円、法人税等の支払額が2億13百万円ありましたが、税引前当期純利益の計上が4億46百万円、減価償却費の計上が1億84百万円、退職給付引当金の増加が83百万円、たな卸資産の減少が67百万円あったこと等によるものであります。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出した資金は、4億36百万円(前期比2億72百万円の支出増)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が86億50百万円ありましたが、定期預金の預入による支出が89億50百万円、有形固定資産の取得による支出が1億29百万円あったこと等によるものであります。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は、2億15百万円(前期比1百万円の支出増)となりました。これは主に、配当金の支払が2億13百万円あったこと等によるものであります。

当社の概要

商号	カネソウ株式会社 (KANESO Co.,LTD.)
本社所在地	三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
電話番号	(059) 377-4747 (代表)
設立	昭和54年10月23日
資本金	1,820,000,000円
事業の内容	建設用金属製品の製造・販売
従業員数	244名

役員

(平成26年6月27日現在)

代表取締役名誉会長	小林 昭三
代表取締役会長	小林 正和
代表取締役社長	近藤 健治
専務取締役	南川 智之
常務取締役	林 正嗣
常務取締役	福田 昭人
取締役	伊藤 博幸
取締役	清水 竜生
取締役	豊田 悟志
常勤監査役	太田 一二御
常勤監査役	野呂 宏
監査役	大竹 雅司
監査役	木原 昌弥

(注) 監査役大竹雅司及び木原昌弥の両氏は、社外監査役であります。

事業所



① 本社 朝日工場	〒510-8101 三重県三重郡朝日町大字縄生81番地
② 東京支店	〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番5号 JBビルディング3F
③ 大阪営業所	〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町一丁目1番6号 内本町B&Mビル6F
④ 仙台営業所	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町一丁目1番8号 第3青葉ビル9F
⑤ 福岡営業所	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前四丁目8番15号 博多鳳城ビル6F

株式情報

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式総数(自己株式を除く)	14,238,439株
株主数	698名
単元株式数	1,000株

大株主

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
小林鑄造有限会社	3,750	26.33
小林正和	3,150	22.12
小林昭三	1,000	7.02
小林誠子	1,000	7.02
小林裕和	1,000	7.02
榊原静枝	450	3.16
神谷布左子	450	3.16
株式会社三菱東京UFJ銀行	156	1.09
株式会社百五銀行	156	1.09
カネソウ従業員持株会	155	1.08

(注)上記のほか、当社保有の自己株式161千株があります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日

定時株主総会・期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

公告掲載新聞 日本経済新聞

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

株式に関する手続き

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
●株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社に お問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
●単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
●未払配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)	

快適をかたちに
KANESO

当社ホームページのご案内
企業情報や製品情報を掲載しております。



<http://www.kaneso.co.jp>



環境に配慮し、植物油インキを使用しています。